キラリ★八代人

八代を彦一のまちに

森山　学さん　熊本高等専門学校
建築社会デザイン工学科　准教授　（植柳上町）

「彦市フェスタ」、「彦一商店街」、「ひこいち DON コンテスト」などにたずさわり、「彦一とんち話」でまちづくりを進めている森山学さんは石川県出身。１４年前、八代工業高等専門学校（現：熊本高等専門学校）の助手として八代に移り住みました。

ある看板を目にし、八代が「彦一とんち話」の舞台であることを知りました。仕事柄、歴史と文化を生かしたまちづくりを手がける中、「彦一」をまちづくりの題材の１つにしよう、と考えたそうです。しかし、「彦一」のことを知るうちに、題材としてではなく「彦一とんち話」そのものに惹かれていきました。

その魅力は、「八代の人たちが江戸時代から語り継いできたもので、その時代時代の流行や生活習慣、思いなどが盛り込まれ、それが織り重なるようにしてできているところがすごい。その幾世代にも渡る、八代の人の思いが凝縮されているところが最大の魅力です」といいます。

新しいことを発案するのが好きという森山さんは、５年程前から「彦一とんち話」を通したまちづくりやイベントなどを次々と提案し、学生や仲間、団体と一緒に開催するようになりました。例えば、彦一とんち話の登場人物から８人を選び、「彦キャラ・エイト」というキャラクターを作ったり、建物の吹き抜けを生かした「空中紙芝居」をしたり、とんちをきかせた丼のコンテストをするなど、自然と彦一の世界へ引き込まれていくものばかりです。

今後、「『出前お話し会』で子どもたちに広めていくことと、話に出てくる地名の場所に看板を立て、そこに行けばキャラクター『彦キャラ・エイト』に会えるという観光素材づくりを進めていきたい」と森山さんのまちづくりの夢は膨らみます。

「数年前は、彦一を知らない子どもたちが多かったけれど、最近では、『知ってるよ』『こんな話があるよ』という声を聞くようになった」と話す森山さん。「みんなが彦一を知り始めたり、再発見している雰囲気を感じて、とてもうれしい」と、にっこり。「彦一のまち八代」の波は確実に広がっています。

目　次
Table of Contents

2013.MAY　No.101

3　天草が生んだ肥後の名宝高浜焼
4　おれんじ食堂 発車
6　子どもの予防接種が変わりました
8　ファミリーサポートセンター
9　生ごみの堆肥化容器などに助成
10　固定資産税ってなに？
12　八代市職員募集（前期日程）
13　乗合タクシー運行を一部変更
14　くらしの情報
16　市民カレンダー
18　くらしの情報
24　広告
28　まちのわだい
　100 歳おめでとうございます
　近隣住民の連携で火災を最小限に
　素早い判断と連携した救命活動で人命救助
　第七・泉中学校で新体育館完成
　あったかハートふれあい劇団 20 周年公演
　宮地東小学校休校記念式典
　種山小・河俣小・内の木場分校で閉校式
　小学校新入学児童へプレゼント
　美味しいメキシコ料理
31　伝言板
32　モバ代誕生